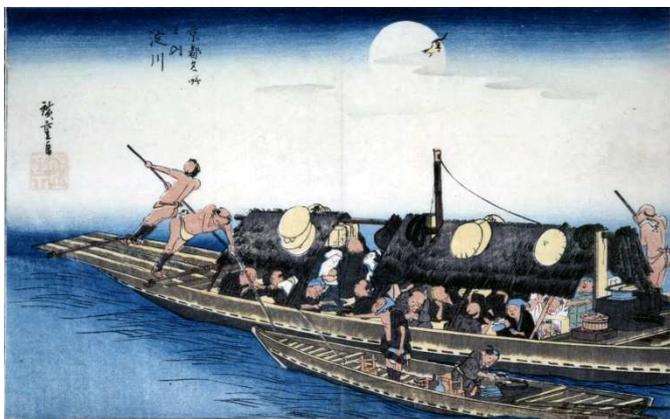


江戸時代に大坂と京都を繋いだ「淀川三十石船」を再現！！  
9月24日から10月12日の期間限定  
大阪・枚方～毛馬閘門～八軒家浜を結ぶ全長16.1キロの船旅  
歴史あふれる「蘇れ！！淀川の舟運」

大阪市内河川で「落語家と行く なにわ探検クルーズ」「とんぼりリバークルーズ」「とんぼりリバージャズボート」「中之島リバークルーズ」を運航する一本松海運株式会社（大阪市北区中之島、代表取締役社長：一本松榮）は秋の期間限定企画として、2018年9月24日（祝日月曜日）から10月12日（金）のうちの計13日間に『蘇れ！！淀川の舟運』を運航します。

「淀川三十石船」（※1）の航路を再現する全長16.1キロの長い船旅では、淀川の歴史についての解説や、当時歌われていた「三十石船唄」の披露があります。「市立枚方宿鍵屋資料館」（※2）の見学も含まれ、当時の賑やかな舟運の雰囲気を楽しむと同時に、「淀川三十石船」の中継港として栄えた枚方宿の歴史も体験できます。さらに大きな見どころとして、「毛馬閘門」（※3）の通航があげられます。新旧淀川の水位差を調節して船の航行を助けるもので、貴重な体験となること間違いなし。  
当時の淀川の繁栄を思い描きながら、現在の水辺の生活を見直すきっかけに、ぜひご乗船くださいませ。



歌川広重画「京都名所之内淀川」  
枚方市教育委員会蔵



屋形船風遊覧船「えびす」

（※1）江戸時代、大坂が「天下の台所」としての役割を担うようになると、淀川が経済の大動脈となり舟運による輸送が活発に行われた。京都・大坂という二大都市を結ぶ重要な交通路淀川は、豊かな水量を持ち、往時には1000艘以上の船が行きかった。「淀川三十石船」は京都・伏見と大坂・八軒家を結んだ乗合旅客船で、その様子は『東海道中膝栗毛』や歌川広重の浮世絵にも描かれている。

■ 本件に関するお問い合わせ先

一本松海運株式会社 大阪市北区中之島6丁目4番7号 担当：鈴木/山本/黒木  
TEL 06-6441-0531 FAX 06-6441-0530 ippon@ipponmatsu.co.jp

(※2) 枚方は、京都・大坂を結ぶ京街道の宿場町として、また淀川舟運の中継港として栄えた。1995年に歴史街道モデル事業地域に指定された枚方宿には、当時の面影をしのばせる町屋が今も残る。三十石船の船待ち宿として繁盛した「鍵屋」は、2001年7月に「市立枚方宿鍵屋資料館」としてオープンし、町並みのメインスポットとして、枚方宿の歴史や淀川舟運の賑わいを現代に伝える展示施設となっている。

(※3) 毛馬閘門はパナマ運河の閘門と同じ仕掛けで、淀川水系では唯一現役稼働。通航は通常は日中とされるが、2018年9月23日と24日に淀川の活性化を目指した社会実験として夜間通航を実施。



市立枚方宿鍵屋資料館



毛馬閘門

#### 『蘇れ！！淀川の舟運』概要

日 程：2018年9月24日（月祝）、26日（水）、28日（金）～10月1日（月）、3日（水）、4日（木）、6日（土）～8日（月祝）、10日（水）、12日（金） 計13日間

コース：●上り 10:00八軒家浜船着場～大川・毛馬閘門・淀川～12:30（予定）枚方船着場  
※特製弁当「菊御膳」付き（下船後に鍵屋資料館でお食事）

●下り 13:00鍵屋資料館～13:30枚方船着場～淀川・毛馬閘門・大川～  
16:00（予定）八軒家浜船着場 ※枚方銘菓付き（船内で配布）

料 金：●上り おとな（中学生以上）6,500円、こども（小学生）4,200円

●下り おとな（中学生以上）4,500円、こども（小学生）2,200円

募集人数：45名

申込方法：一本松海運予約受付センター TEL06-6441-0532（9:00～18:00）

主催・運航：一本松海運株式会社 共催：枚方文化観光協会

後援：淀川舟運整備推進協議会 協力：枚方市 枚方フェスティバル協議会



特製弁当「菊御膳」（イメージ）



季節の枚方銘菓



船内の様子

#### ■本件に関するお問い合わせ先

一本松海運株式会社 大阪市北区中之島6丁目4番7号 担当：鈴木/山本/黒木

TEL 06-6441-0531 FAX 06-6441-0530 ippon@ipponmatsu.co.jp